

京都大学大学院地球環境学堂と西条市が教育・研究交流協定を締結しました

このたび京都大学大学院地球環境学堂と西条市との間で「教育・研究交流協定」を締結することとなり、12月1日(土)に同学堂の嘉門雅史学堂長をはじめ大学関係者のご出席のもと、市庁舎で調印式を執り行いました。

京都大学大学院地球環境学堂は、環境、防災、文化、産業、健康・福祉など幅広い分野で活躍する多数の研究者を有しています。

市では「防災」「環境」「まちづくり」「産業振興」など行政施策の推進に当たり、かねてより同学堂から多大な協力を得ており、現在も担当部



▲協定書に調印する嘉門雅史学堂長(右)と伊藤市長

局間の交流が続いています。特に平成16年の台風被害を教訓として、地域防災のあり方や山間地域の活性化に関するご指導をいただいております。市民の安全・安心な生活の確保を図るために同学堂の知見を十分に活用させていただいています。

今回の協定は、これまでの交流実績を基盤として、さらに幅広い分野での連携活動を推進しようとするもので

現地視察を実施

嘉門学堂長をはじめ大学関係者の方々に西条市の地域資源をご理解いただくため、調印式終了後には、アクアトピア



▲協定書を取り交わす嘉門学堂長と伊藤市長



▲京都大学の小林正美教授等にご指導いただいで作成した木製ダムを視察する京大関係者

今回の協定締結を契機に、協定で謳われていた「京都大学大学院地球環境学堂における教育・研究の充実」と「西条市における地域力向上」の両面で、相互に多大なプラス効果が現れるよう、さらなる多様な分野の連携活動を積極的に推進していきます。

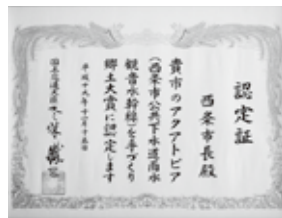
これからの連携活動

ア水系、黒瀬ダム、鉄道歴史パーク in S A I J Oなどを視察していただきました。

今回の現地視察も踏まえ、西条市がめざす「快適環境実感都市」の実現に向けた様々な取り組みが、同学堂との連携・協力によって実施されていくことが期待されます。

アクアトピアが手づくり郷土賞「大賞部門」を受賞

アクアトピア(西条市公共下水道雨水観音水幹線)が国土交通省の手づくり郷土賞「大賞部門」を受賞することとなり、12月2日、ひうち会館にて認定証の伝達式が執り行われ、国土交通省の山本順三政務官より認定証が伊藤市長に手渡されました。



この大賞部門は、昭和61年度から平成9年度までの手づくり郷土賞の各部門で受賞した物件のうち、現在も良質な社会資本として地域の個性や魅力づくりに貢献しているものを顕彰するものです。

アクアトピアは、平成3年度に手づくり郷土賞「施設部門」を受賞しており、今回の受賞は、アクアトピアが快適な水辺空間を創出し、市民によるボランティア活動や清掃活動などの取り組み、四国初となる「河川の清流を守る条例」の制定(平成4年度)などが評価されたもので、平成19年度は、西条市を含め全国で11件認定されています。 ※アクアトピアについては、39ページの「ふるさと探訪」で紹介しています。



▲認定証を手に喜びの伊藤市長と、伝達式に出席いただいた国土交通省の皆さん。(右から、戸谷有一総合政策局事業総括調整官、柘屋誠四国地方整備局長、伊藤市長、山本順三国土交通大臣政務官、高松諭松山河川国道事務所長)